



Japan Society of Internship  
and Work Integrated Learning

# 日本インターンシップ学会 NEWS LETTER

## 2021 年度 NO.1

### ■ 目次

- ・新会長就任にあたって
- ・会長交代にあたってのご挨拶
- ・第22回大会を終えて
- ・第23回大会開催に向けて
- ・理事会報告
- ・2020年度総会報告
- ・2019年度事業報告及び決算報告
- ・2020年度事業計画及び予算
- ・2021-2022年度役員改選
- ・年報編集委員会報告
- ・広報委員会報告
- ・学会表彰委員会報告
- ・企画研究委員会報告
- ・楨本記念賞WG報告
- ・支部活動報告  
(北海道支部、東日本支部、関西支部、九州支部)
- ・事務局からのお知らせ

## インターンシップと学会の20年

### 一 会長就任にあたって一

この度、2021 学会年度からの会長に就任しました吉本圭一です。現在は、大阪にある滋慶医療科学大学教授として大学院の教育研究を担っております。それ以前の2020年までは、24年間九州大学に勤めておりました。その半分の期間、三代目の事務局長として4年間を務め、三代目の会長として4期8年間を務めてきましたので、都合12年間を、本学会の成長と深く関わりながら研究生活を歩んできたこととなります。この学会が学術研究の団体として発展していくために、多くの会員の皆さまとご一緒に、いろいろな活動をしてきたことを思い出します。



本学会は1999年発足から20年を経て、人であれば成人を迎えたこととなります。われわれの研究対象となるインターンシップ制度も、日本においては1997年の三省合意からのスタートですから、同様に20年を越えました。新しい制度の誕生からの成長・展開スピードというのは早いものですが、インターンシップにおいても同様です。いま教育から採用までの多様なコンセプトが拡がり、先の三省合意の見直し議論までも生じています。

まさに転換期です。われわれはこれまでに本学会における研究の枠組みは築いてきましたが、インターンシップの成長の転機とも言うべきいま、多様な現場を俯瞰しながら実践を省察できる研究の成果が求められています。学術と職業を往還する経験であるインターンシップの充実向上にむけた研究を愉しむために、あらためて五代目の会長に就任にあたって、以下に3つの課題を提示したいと思います。

第一には、インターンシップを広い視野から機能とし

て理解することです。いろいろな議論の現場でこれこれの活動や経験は「インターンシップ」と呼ぶべきでないというメッセージが出されたりしています。しかし、そうした活動に関わる当事者にあってはそれもまた「インターンシップ」なのですし、インターンシップと呼ばれていない活動が同等以上の機能を果たすということもあります。研究年報第24号が「職業統合的学習 (Work Integrated Learning: WIL)」と題する特集を組んでいるのも、そうした多様性を包含するという考え方に基づいています。資格取得のための実習も、それぞれの専門の場で固有の展開をしていますが、それらに通底する機能的な価値は、インターンシップの充実向上においても核となるものです。実習の段階性や指導者の関与など資格取得の実習から学ぶものは多くあります。また、ボランティアに参加する学習者の視点など、本学会で多くとりあげている資格要件となっていないインターンシップ等の研究から、資格実習等の研究へと示唆するものもまた多くあると考えます。視座の交換、広い視野から学ぶということを課題の第一としていきたいと思えます。

第二には、それと関連して、インターンシップを担う人材の専門性の理解と開発へのアプローチです。視座の交換、広い視野から学ぶということは、学術の界としての学校と職業現場である生活世界とを学習者が往還するインターンシップ・WIL (職業統合的学習) の活動のもつ固有の価値です。その活動に関与する関係者の専門性においても、また、そうした視座の交換、広い視野でみる力が求められます。インターンシップの現場を担う関係者はどのような人か、どこから来て、どのような力を発揮し学習者の成長を促していくのか。これが、これからの大きな研究領域となります。

その研究領域は、本学会においては「汝自らを知れ」というギリシアの格言につながります。会員を理解し、また相互にその理解を深めていくことを第三の課題としたいと考えています。本学会では、インターンシップ・WILの学術と職業の往還という研究対象の特性から、その往還

現場に仕事として立ち会う会員が多くあり、またそれを学術として観察する会員や、職業や社会の現場で学習者を受け入れて指導する側の会員など、様々な会員がいます。特に、往還の場にいるというだけでは自らの往還ができるわけではありません。それぞれがどのような知識と経験を踏まえてそこに参画しているのか、またさらなる専門性獲得向上のための方途は何か。会員が相互に自らの経験を、学会という対話の場（アゴラ）に持ち込み、その問いを深めていくことが大切だと思います。

かつて拙稿で「30歳社会的成人説」を提唱し、「大学における教育の遅効性」の命題を提起しました。われわれ日本インターンシップ学会は、学術団体としての成人に達しているのか、シティズンシップを獲得しているのか、あらためて問い直してみることが必要であろうと思っています。また、これまでに構築してきた学会の研究枠組みが実質化しているのか、その構築の成果を自己点検・評価するために、また次世代の会員育成のために、会長として会員の皆様とともに、これらの課題を確認し、学会の発展に貢献したいと考えております。みなさま、一緒にインターンシップとWILの探究を進めていきましょう。どうぞよろしく願いいたします。

（会長 吉本圭一・滋慶医療科学大学）

## 会長交代にあたってのご挨拶

会員の皆様、この2期4年間、誠にありがとうございました。役員をはじめ、会員の皆様から頂いたご理解とご協力に対し、改めて心より感謝申し上げます。特に、役員の皆様には、多くのご苦勞をおかけしたことと思います。ご活躍とご協力に深く感謝いたします。

新型コロナウイルス感染症による影響は、理事会や各支部の運営、さらには、学会としての活動の全てに及びました。全国大会の開催も、この2年間はオンラインによる開催となり、担当支部ならびに実行委員の皆さまには、想像以上のご苦勞があったことと思います。

その一方で、北は北海道から南は九州まで、全国各地の会員の皆様に、普段は参加することの難しい各支部の研究学会や全国大会にオンラインで積極的にご参加頂けたことを嬉しく思っています。インターンシップの在り方も変化したこの2年間、本来の業務でもお忙しくお過ごしの方の会員の皆様のご活躍は、会則第2条にある「インターンシップに係わる諸問題の研究の推進・普及」に大きく寄与するものであったと確信しています。オンラインのメリットを十分に生かした学会活動を展開することができたことも、これからの学会活動の可能性を広げる成果であったと思います。

近年、会員の皆様の研究領域は、ますます多様化しています。これからの学会活動を活性化するためには、研究領域別のワーキンググループを作り、研究を推進することも必要であるかもしれません。教育機関に勤務する研究

者にとっては、職場環境の変化も学会活動の活性化に向けた課題であると思われます。研究に費やす時間が減少し、研究会への参画や参加も時間的に制限されるなど、学事と研究を両立することは、一層困難な状況にあります。この点、運営を主催する側には手間もかかりますが、新しい考えをもった若い人たちに参画の機会を提供することも、今後検討していくことが不可欠な課題であると思います。

新型コロナウイルス感染症の影響も和らぎつつある現在、日本インターンシップ学会の活動の益々の発展を祈念いたしますとともに、今後は会員の一人として、微力ながら本学会の活動を支援・協力してまいりたいと思います。ありがとうございました。

（前会長 折戸晴雄・玉川大学観光学部客員教授/TOC 総合研究所代表取締役）

## 第22回大会を終えて

2021年9月18日（土）札幌国際大学において、第22回大会をオンライン形式にて開催致しました。当日は全国から延べ90名を超えるご参加をいただき、活発な討議が行われました。ここに厚く御礼申し上げます。

実行委員会発足直後は大会開催時の状況が全く予想できず、対面とオンライン両方での準備も検討しました。結局は1日開催のオンライン形式に決定したものの、振り返れば反省点は多々あります。第22回大会は当初からオンタイム進行を意識していたためこれは守ることができました。しかし内容が盛り沢山であったため、1日開催で良かったのか、これは今でも答えが出ないところです。

大会のテーマは「ニューノーマルなインターンシップとポストコロナの新時代」と致しました。コロナ禍で、私たちの社会におけるあらゆる「常識」が変わりつつあります。私たちはこれから新しい時代に突入することになり、その中でインターンシップも在り方そのものが問われているわけです。

オンライン形式によるインターンシップも一昔前は考えられませんでした。同時に海外へ目を向けると「二刀流」も考えられませんでした。そうです、大谷翔平選手（アナハイムエンゼルス）です。今や大リーグでも二刀流を目指す選手が増えており、彼は彼自身の力をもってして、長い歴史を誇る大リーグの価値観を変えてしまいました。今回の基調講演はその大谷選手が北海道日本ハムファイターズに入団したときのヘッドコーチであり、現在は札幌国際大学教授である阿井英二郎氏にお願い致しました。

基調講演を挟み、午前・午後で研究発表を行いました。4つの会場で合計17件の発表が行われました。コロナ禍でどの大学もご多忙の中、多くの発表が行われたことは大会実行委員長としても万感の思いです。研究発表終了後、2020年度高良記念研究助成報告として、岐阜大

学の柴田仁夫会員による発表「コロナ禍における中小企業のインターンシップへの対応」が披露され、それに続き、2020年度の榎本記念賞も発表されました。その後、年次総会を経て予定時刻に無事に終了の運びとなりました。

開催前はあらゆるトラブルを想定しリハーサルも入念に行いましたが、かえって目の前の細かなことが疎かになっていた気がします。会場では、実行委員よりサポート学生の方が多く、デジタルネイティブな彼らに助けられた面も多々ありました。そして実行委員だけでなく、本部理事の皆様をはじめ、全国各地からフォローいただけたことは精神的に随分と助けられました。

昨冬に委員長就任のご挨拶をしてから、1年間がものすごい速さで進んでいったように感じております。特に大きなトラブルもなく大会を終了することができたのは、関係者の皆様をはじめ、当日ご参加いただいた皆様のご協力あってこそです。しかしながら皆様には細かい部分での失礼やご不便をおかけした面がありましたこと、この場を借りてお詫びを申し上げます。今後の大会運営に申し添えたいと存じます。

(第22回大会実行委員長 原 一将・札幌国際大学)

## 第23回大会開催に向けて

次年度(2022年度)の第23回大会は、久留米大学(御井学舎)で開催することになりました。開催日程は2022年8月27日(土)~28日(日)の2日間での開催を予定しております。開催形式は、対面、一部対面でのハイブリッド形式もしくはオンライン形式のいずれかを検討中です。感染状況を考慮しながら開催2か月前頃までには、開催形式を決定したいと存じます。最新情報については、学会ウェブサイトやメルマガ等でご案内する予定です。大会テーマは、「学校と職業をつなぐ職業統合的学習(WIL)」です。

開催校となる久留米大学は、1928年に九州医学専門学校として創設され、1950年に新制大学として久留米大学が設置されました。創設時の九州医学専門学校は、地方の医師不足解消のために、ブリジストン創業者である石橋正二郎氏とその兄の徳次郎氏により土地と建物が寄贈されたという経緯があります。現在は、筑後地域で唯一の総合大学として、地域医療だけでなく、産業や文化の発展にも人材育成を拓けています。

久留米市は、開業医が多い「医者まち」として知られています。福岡県南部に位置し、筑後川と筑後平野、耳納連山に囲まれる自然豊かな街です。とんこつラーメン発祥の地、日本有数の酒蔵数、そして巨峰やあまおう発祥の地として一年中フルーツ狩りができる食文化だけでなく、久留米緋や藍胎漆器などの伝統工芸を現代に引き継いでいる街です。

教育界と地域・職業・産業の界との往還、専門分野を超

えた横断的な議論によって職業統合的学習(WIL)の探究につながる全国大会になるよう尽力したいと存じます。大会開催に向け、会員の皆様のご支援、ご協力のほどお願い申し上げます。

(第23回大会実行委員長・江藤 智佐子・久留米大学)

## 理事会報告

### 2020年度 第5回理事会 (2021年5月3日\*Web会議)

選挙管理委員会の組織ならびに理事選挙のスケジュール、高良記念研究助成ならびに榎本記念賞の選考方法などを議案とするWeb会議を開催し6つの議案を審議しました。また、年報編集委員会より年報第24号の編集に関わる進捗状況が、広報委員会より「NEWSLETTER 2020年度 No.2」の発行要領が、加えて、北海道支部より支部活動の状況が、各々報告されました。さらに、事務局より本学会名誉顧問である榎本会員より、榎本記念賞の基金として20万円の寄付をいただいたことが報告されました。議事の概要は、次のとおりです。

#### (議案1) 入退会の審査

・事務局より提示された資料と推薦者である関西支部長安孫子理事の補足に基づき、審議を行った結果、入会願が提出された1名の個人会員の入会が認められた。

#### (議案2) 選挙管理委員の選出と選挙に関わるスケジュールについて

・事務局より、2021-2022年度を任期とする選挙に関わる選挙管理委員の選出方法と選挙スケジュールについて、資料に基づき提案の詳細が説明され、審議の結果、提案は承認された。

#### (議案3) 日本インターンシップ学会 第22回大会(全国大会)について

・開催地区である北海道支部長の小林理事、実行委員長を務める原会員より、開催日程・開催方法・大会プログラムなどについて、資料に基づき説明がなされた。各理事の質問と意見を踏まえ審議を行った結果、①会員と非会員の参加費を異なるものにする、②要旨収録はPDFファイルで発行にすることを決定した。また、参加費用とPDFファイルの公開対象については、引き続き実行委員会で議論し、決定することにした。

#### (議案4) WACEとの連携について

・関西支部長の安孫子理事より資料に基づき説明がなされ、吉本理事よりWACEとの関わりについて、これまでの経緯が補足された。これを受けて審議を行った結果、今後のWACEとの連携については、企画研究委員会で継続審議を行うことを決定した。

#### (議案5) 高良記念研究助成ならびに榎本記念賞について

・学会表彰委員会委員長古閑理事より、高良記念研究助成ならびに榎本記念賞の応募から表彰に至るスケジュール、募集要項(申請書の形式)・審査基準等が資料に基づき説明され、審議の結果、承認された。

(議案6) 学会IPにおける役員 page の掲載方法について  
・事務局より、現在の学会 HP における役員 page で割愛されている名誉会員(名誉会長・名誉顧問)を以前と同じく、掲載する方向で調整を進めたいとの提案がなされ、審議の結果、承認された。

#### 2020年度 第6回理事会(2021年5月26日\*書面会議)

現在の新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言の発出状況等を鑑み、公正で透明性のある選挙の実施と選挙管理委員会委員の安心・安全の確保に向けて、オンラインによる選挙の実施を目指したいとの第1回選挙管理委員会からの提案を受け、次の2つの議案を審議し、承認しました。

(議案1) 今回の選挙に限り、理事選挙規程第5条の規定に対する例外措置を認めること

(議案2) オンラインによる選挙を実施する場合には、これに関わる詳細(業者の選定や告知、開票の方法、投票期間など)の決定を選挙管理委員会に一任すること

#### 2021年度 第1回理事会(2021年8月11日\*Web会議)

入会願が提出された3名の個人会員の入会と退会願が提出された8名の個人会員ならびに4件の法人会員(内1件については、引継ぎの際の不備により2019年度末に遡るもの)の退会について審議し、承認されました。また、選挙管理委員会による新理事候補15名ならびに新会長候補に関する選挙結果、学会表彰委員会による2021年度高良記念研究助成ならびに榎本記念賞の審査結果が報告されました。加えて、北海道支部より全国大会に向けた準備状況が報告されました。

選挙管理委員会による選挙結果の報告については、横山皓一監事より、選挙の方法や結果、投票率の低さに対する疑義が出され、対応を会長・事務局・選挙管理委員会で協議することとなりました。

なお、後日行われた協議の結果を踏まえ、選挙の方法については、会則第20条の規定を踏まえ、2020年度第5回理事会での審議に基づくものであることを改めて確認し、選挙結果については、8月22日にメールにて、①日本インターンシップ学会 投票結果(理事)の順位(理事就任者の得票数がわかるところ)までのデータ、②理事承諾リスト、③日本インターンシップ学会 オンライン投票結果(会長)の3つのデータを理事・監事の先生方にお示しするとともに、監査役に対して疑義に対する監査結果を報告書として提出いただくよう依頼しました。

#### 2021年度 第2回理事会(2021年9月15日\*Web会議)

会則に基づき、2020年度の総会に関わる事項の審議をおこなうとともに、全国大会の開催に向けた報告がなされました。議事の概要は、次のとおりです。

(議案1) 会則第20条に基づく総会に提出する議案について

・事務局より提示された資料に基づき、審議を行った。出席された横山監事より、監査の具体的な報告と会員数の確保の必要性など、具体的な提案がなされた。また、当日の資料に「貸借対照表兼財産目録」を加えること、横山

監事の作成した「計画&実施状況管理表(例)」と「支部収支報告」を理事の先生方に送付し、次年度の参考にすることが確認され、了承された。

なお、「貸借対照表兼財産目録」を加えた総会資料については、「計画&実施状況管理表(例)」と「支部収支報告」とともに、同日、理事・監事の先生方にメールにて送付、最終確認をいただき、17日に確定し、第22回大会実行委員会委員である小林理事に送付した。

#### 2021年度第3回理事会(2021年10月16日\*Web会議)

新たな運営体制のもと、入退会審査に加え、2021-2022年度の運営方針と体制、委員会組織の各委員長についての審議をおこない、承認されました。また、北海道支部長の小林理事より9月18日に開催されました全国大会の各規格の参加人数、アンケート結果の分析などの総括が報告されました。

次年度(第23回)大会は九州支部担当となり、大会校として久留米大学(大会実行委員長・江藤理事)での開催が承認されました。

(事務局 山口圭介・玉川大学)

## 2020年度総会報告

全国大会と同じく9月18日に開催されました2020年度の総会には、当日参加された55名の会員に加え、提出された委任状をもとに、次の8つの議題および議案についての審議をおこない、承認されました。この場をお借りして、心よりお礼申し上げます。また、当日の議事の進め方に不手際がございましたことを、改めてお詫び申し上げます。

1. 2021-2022年度の運営体制について
2. 2020年度 事業報告(案)
3. 2020年度 決算報告(案)  
2020年度 監査報告
4. 2021年度 事業計画(案)
5. 2021年度 予算(案)
6. 2021年度 高良記念研究助成について
7. 第4回 榎本記念賞について
8. 第22回大会について

(事務局 山口圭介・玉川大学)

2019 年度事業報告及び決算報告

2020年度 日本インターンシップ学会 一般会計 収支計算書

(2020年7月1日～2021年6月30日)

一般会計【収入の部】

(単位:円)

| 大科目     | 中科目        | 2020年度予算(a) | 2020年度決算(b) | 予実差異(b-a) |
|---------|------------|-------------|-------------|-----------|
| 会費収入    | 小計         | 2,675,000   | 2,695,000   | 20,000    |
|         | 個人会員       | 1,840,000   | 1,830,000   | -10,000   |
|         | 学生会員       | 55,000      | 45,000      | -10,000   |
|         | 法人・団体会員    | 780,000     | 820,000     | 40,000    |
| 事業収入    | 小計         | 0           | 0           | 0         |
|         | 研究会収入      | 0           | 0           | 0         |
|         | 書籍・年報等販売収入 | 0           | 0           | 0         |
| 雑収入     | 小計         | 100         | 940,141     | 940,041   |
|         | 受取利息       | 100         | 0           | -100      |
|         | その他の収入     | 0           | 200,000     | 200,000   |
|         | 大会開催費余剰金   | 0           | 0           | 0         |
|         | 北海道支部余剰金   | 0           | 199,505     | 199,505   |
|         | 東日本支部余剰金   | 0           | 199,340     | 199,340   |
|         | 関西支部余剰金    | 0           | 155,406     | 155,406   |
|         | 九州支部余剰金    | 0           | 185,890     | 185,890   |
|         | 当期収入合計(A)  |             | 2,675,100   | 3,635,141 |
| 前期繰越金   |            | 8,180,884   | 8,180,884   |           |
| 収入合計(B) |            | 10,855,984  | 11,816,025  |           |

一般会計【支出の部】

| 大科目           | 中科目            | 2020年度予算額  | 2020年度決算(b) | 予実差異(b-a)  |
|---------------|----------------|------------|-------------|------------|
| 事業費           | 小計             | 1,828,000  | 1,832,321   | 4,321      |
|               | 北海道支部活動費       | 200,000    | 212,368     | 12,368     |
|               | 東日本支部活動費       | 200,000    | 200,000     | 0          |
|               | 関西支部活動費        | 200,000    | 200,000     | 0          |
|               | 九州支部活動費        | 200,000    | 200,000     | 0          |
|               | 大会開催費(大会開催準備費) | 300,000    | 300,000     | 0          |
|               | 年報作成費          | 400,000    | 626,692     | 226,692    |
|               | J-stage移行費     | 228,000    | 10,450      | -217,550   |
|               | 記念事業費          | 50,000     | 0           | -50,000    |
|               | 役員選挙費          | 50,000     | 82,811      | 32,811     |
|               | 名簿作成費          | 0          | 0           | 0          |
|               | 事務管理費          | 小計         | 1,838,880   | 1,203,739  |
| 通信費(郵送料等)     |                | 250,000    | 115,690     | -134,310   |
| HP管理費         |                | 38,880     | 42,900      | 4,020      |
| 役員・委員等旅費補助    |                | 350,000    | 0           | -350,000   |
| 業務外部委託費       |                | 1,000,000  | 967,923     | -32,077    |
| その他運営費        |                | 200,000    | 77,226      | -122,774   |
| 当期支出小計        |                | 3,666,880  | 3,036,060   | -630,820   |
| 特別会計へ         | 積立金            | 200,000    | 0           | -200,000   |
|               | 寄付金            | 100,000    | 200,000     | 100,000    |
| 予備費           | 予備費            | 6,889,104  | 0           | -6,889,104 |
| 当期支出合計(C)     |                | 10,855,984 | 3,236,060   |            |
| 当期収支差額(A)-(C) |                | -8,180,884 | 399,081     |            |
| 次期繰越金(B)-(C)  |                | 0          | 8,579,965   |            |
| 支出合計          |                | 0          | 11,816,025  |            |

2020年度 日本インターンシップ学会 特別会計 収支計算書

(2020年7月1日～2021年6月30日)

特別会計【収入の部】

(単位:円)

| 大科目       | 中科目    | 2020年度予算(a) | 2020年度決算(b) | 予実差異(b-a) |
|-----------|--------|-------------|-------------|-----------|
| 寄付金       | 一般会計より | 100,000     | 200,000     | 100,000   |
| 積立金       | 小計     | 200,000     | 0           | -200,000  |
|           | 一般会計より | 200,000     | 0           | -200,000  |
| 雑収入       | 小計     | 50          | 0           | -50       |
|           | 受取利息   | 50          | 0           | -50       |
|           | その他の収入 | 0           | 0           | 0         |
| 当期収入合計(A) |        | 300,050     | 200,000     |           |
| 前期繰越金     |        | 0           | -12,504     |           |
| 収入合計(B)   |        | 300,050     | 187,496     |           |

特別会計【支出の部】

| 大科目           | 中科目        | 2020年度予算(a) | 2020年度決算(b) | 予実差異(b-a) |
|---------------|------------|-------------|-------------|-----------|
| 特別事業費         | 小計         | 200,000     | 100,000     | -100,000  |
|               | 高良記念研究助成事業 | 200,000     | 100,000     | -100,000  |
|               | 槇本記念賞事業費   | 0           | 0           | 0         |
| 事務管理費         | 小計         | 1,000       | 440         | -560      |
|               | 振込手数料      | 1,000       | 440         | -560      |
|               | その他        | 0           | 0           | 0         |
| 予備費           | 予備費        | 99,050      | 260         | -98,790   |
| 当期支出合計(C)     |            | 300,050     | 100,700     |           |
| 当期収支差額(A)-(C) |            | 0           | 99,300      |           |
| 次期繰越金(B)-(C)  |            | 0           | 86,796      |           |
| 支出合計          |            | 300,050     | 187,496     |           |

2020年度 日本インターンシップ学会

貸借対照表兼財産目録

(2021年6月30日現在)

(単位:円)

| 借方            |                   | 貸方              |                   |
|---------------|-------------------|-----------------|-------------------|
| 科目            | 金額                | 科目              | 金額                |
| <b>【流動資産】</b> | <b>10,008,327</b> | <b>(負債の部)</b>   |                   |
| 手持現金(鳥取大)     | 0                 | <b>【流動負債】</b>   | <b>1,341,566</b>  |
| 手持現金(九州大)     | 0                 | 未払費用            | 260,566           |
| 預金            | 9,283,791         | 前受金             | 1,080,000         |
| 郵便振替口座        | 9,263,791         | 仮受金             | 1,000             |
| 郵便振替口座(玉川)    | 20,000            | 特)未払金           | 0                 |
| 立替金           | 0                 | 特)未払費用          | 0                 |
| 未収入金          | 724,536           | <b>【固定負債】</b>   | <b>0</b>          |
| 仮払金           | 0                 |                 |                   |
| 一)未収入金        | 0                 | <b>(純資産の部)</b>  |                   |
| <b>【固定資産】</b> | <b>0</b>          | 剰余金             | <b>8,666,761</b>  |
|               |                   | (一般会計繰越金)       | 8,579,965         |
|               |                   | (特別会計繰越金)       | 86,796            |
| <b>資産合計</b>   | <b>10,008,327</b> | <b>負債・純資産合計</b> | <b>10,008,327</b> |

(注)本来は貸借対照表と財産目録を個別作成する必要があるが、  
財産が僅少のため当面本表にて対応することとする。

## 2021年度 事業計画 (案)

### 1. 2021年度事業期間

2021年7月1日～2022年6月30日

### 2. 事業の概要

- |  |       |        |
|--|-------|--------|
| (1) 第22回大会の開催 (オンライン開催)                | 2021年 | 9月18日  |
| (2) 支部研究会の開催 (各支部2～3回程度)               | —     |        |
| (3) 『インターンシップ研究年報』第24号の刊行              | 2021年 | 10月を予定 |
| (4) News Letterの発行 (年2回) 及びその他の広報活動の充実 | —     |        |
| (5) 2021年度 高良記念研究助成実施                  | —     |        |
| *資料6参照                                 |       |        |
| (6) 第4回 槇本記念賞表彰実施                      |       |        |

## 2021年度 日本インターンシップ学会 一般会計 予算

一般会計【収入の部】 (単位:円)

| 大科目      | 中科目              | 2021年度予算額  | 2020年度予算額  | 2020年度実績   | 2019年度実績  | 2018年度実績  | 予算増減      |
|----------|------------------|------------|------------|------------|-----------|-----------|-----------|
| 会費収入     | 小計               | 2,525,000  | 2,675,000  | 2,695,000  | 2,728,000 | 2,732,000 | -150,000  |
|          | 個人会員(10,000円)    | 1,760,000  | 1,840,000  | 1,830,000  | 1,803,000 | 1,797,000 | -80,000   |
|          | 学生会員(5,000円)     | 45,000     | 55,000     | 45,000     | 65,000    | 75,000    | -10,000   |
|          | 法人・団体会員(20,000円) | 720,000    | 780,000    | 820,000    | 860,000   | 860,000   | -60,000   |
| 事業収入     | 小計               | 0          | 0          | 0          | 0         | 0         | 0         |
|          | 研究会収入            | 0          | 0          | 0          | 0         | 0         | 0         |
|          | 書籍・年報等販売収入       | 0          | 0          | 0          | 0         | 0         | 0         |
| 雑収入      | 小計               | 0          | 100        | 940,141    | 0         | 369,982   | -100      |
|          | 受取利息             | 0          | 100        | 0          | 0         | 0         | -100      |
|          | その他の収入           | 0          | 0          | 200,000    | 0         | 50        | 0         |
|          | 大会開催費余剰金         | 0          | 0          | 0          | 0         | 300,000   | 0         |
|          | 北海道支部余剰金         | 0          | 0          | 199,505    | 0         | 69,932    | 0         |
|          | 東日本支部余剰金         | 0          | 0          | 199,340    | 0         | 0         | 0         |
|          | 関西支部余剰金          | 0          | 0          | 155,406    | 0         | 0         | 0         |
|          | 九州支部余剰金          | 0          | 0          | 185,890    | 0         | 0         | 0         |
|          | 当期収入合計(A)        |            | 2,525,000  | 2,675,100  | 3,635,141 | 2,728,000 | 3,101,982 |
| 前期繰越収支差額 |                  | 8,579,965  | 8,180,884  | 8,180,884  | 7,047,017 | 6,731,894 | 399,081   |
| 収入合計(B)  |                  | 11,104,965 | 10,855,984 | 11,816,025 | 9,775,017 | 9,833,876 | 248,981   |

一般会計【支出の部】

| 大科目             | 中科目            | 2021年度予算額  | 2020年度予算額  | 2020年度実績  | 2019年度実績  | 2018年度実績  | 予算増減      |          |
|-----------------|----------------|------------|------------|-----------|-----------|-----------|-----------|----------|
| 事業費             | 小計             | 1,728,000  | 1,828,000  | 1,832,321 | 321,117   | 1,110,536 | -100,000  |          |
|                 | 北海道支部活動費       | 200,000    | 200,000    | 212,368   | 0         | 150,000   | 0         |          |
|                 | 東日本支部活動費       | 200,000    | 200,000    | 200,000   | 3,905     | 150,000   | 0         |          |
|                 | 関西支部活動費        | 200,000    | 200,000    | 200,000   | 150,000   | 0         | 0         |          |
|                 | 九州支部活動費        | 200,000    | 200,000    | 200,000   | 6,832     | 150,000   | 0         |          |
|                 | 大会開催費(大会開催準備費) | 300,000    | 300,000    | 300,000   | 0         | 300,000   | 0         |          |
|                 | 年報作成費          | 400,000    | 400,000    | 626,692   | 160,380   | 254,880   | 0         |          |
|                 | J-stage移行費     | 228,000    | 228,000    | 10,450    | 0         | 0         | 0         |          |
|                 | 記念事業費          | 0          | 50,000     | 0         | 0         | 50,850    | -50,000   |          |
|                 | 役員選挙費          | 0          | 50,000     | 82,811    | 0         | 54,806    | -50,000   |          |
|                 | 名簿作成費          | 0          | 0          | 0         | 0         | 0         | 0         |          |
|                 | 事務管理費          | 小計         | 1,609,600  | 1,838,880 | 1,203,739 | 1,273,016 | 1,757,904 | -229,280 |
|                 |                | 通信費(郵送料等)  | 120,000    | 250,000   | 115,690   | 27,714    | 63,982    | -130,000 |
| HP管理費           |                | 39,600     | 38,880     | 42,900    | 36,060    | 38,880    | 720       |          |
| 役員・委員等旅費補助      |                | 350,000    | 350,000    | 0         | 184,800   | 675,000   | 0         |          |
| 業務外部委託費         |                | 1,000,000  | 1,000,000  | 967,923   | 1,006,410 | 975,216   | 0         |          |
| その他運営費          |                | 100,000    | 200,000    | 77,226    | 18,032    | 4,826     | -100,000  |          |
| 当期支出小計          |                | 3,337,600  | 3,666,880  | 3,036,060 | 1,594,133 | 2,868,440 | -329,280  |          |
| 特別会計へ           | 積立金            | 100,000    | 200,000    | 0         | 0         | 0         | -100,000  |          |
|                 | 寄付金            | 100,000    | 100,000    | 200,000   | 0         | 0         | 0         |          |
| 予備費             | 予備費            | 7,567,365  | 6,889,104  | 0         | 0         | 0         | 678,261   |          |
| 当期支出合計(C)       |                | 11,104,965 | 10,855,984 | 3,236,060 | 1,594,133 | 2,868,440 | 248,981   |          |
| 当期収支差額(A)-(C)   |                | -8,579,965 | -8,180,884 | 399,081   | 1,133,867 | 233,542   | -399,081  |          |
| 次期繰越収支差額(B)-(C) |                | 0          | 0          | 8,579,965 | 8,180,884 | 6,965,436 | 0         |          |



## 2021年度 日本インターンシップ学会 特別会計 予算

### 特別会計【収入の部】

(単位:円)

| 大科目       | 中科目    | 2021年度予算額 | 2020年度予算額 | 2020年度実績 | 2019年度実績 | 2018年度実績 | 予算増減     |
|-----------|--------|-----------|-----------|----------|----------|----------|----------|
| 寄付金       |        | 100,000   | 100,000   | 200,000  | 0        | 0        | 0        |
| 積立金       | 小計     | 100,000   | 200,000   | 0        | 0        | 0        | -100,000 |
|           | 一般会計より | 100,000   | 200,000   | 0        | 0        | 0        | -100,000 |
| 雑収入       | 小計     | 0         | 50        | 0        | 0        | 0        | -50      |
|           | 受取利息   | 0         | 50        | 0        | 0        | 0        | -50      |
|           | その他の収入 | 0         | 0         | 0        | 0        | 0        | 0        |
|           |        |           |           |          |          |          |          |
| 当期収入合計(A) |        | 200,000   | 300,050   | 200,000  | 0        | 0        | -100,050 |
| 前期繰越収支差額  |        | 86,796    | 0         | -12,504  | 87,496   | 187,496  | 86,796   |
| 収入合計(B)   |        | 286,796   | 300,050   | 187,496  | 87,496   | 187,496  | -13,254  |

### 特別会計【支出の部】

| 大科目             | 中科目        | 2021年度予算額 | 2020年度予算額 | 2020年度実績 | 2019年度実績 | 2018年度実績 | 予算増減     |
|-----------------|------------|-----------|-----------|----------|----------|----------|----------|
| 特別事業費           | 小計         | 200,000   | 200,000   | 100,000  | 100,000  | 100,000  | 0        |
|                 | 高良記念研究助成事業 | 100,000   | 200,000   | 100,000  | 100,000  | 100,000  | -100,000 |
|                 | 榎本記念賞事業費   | 100,000   | 0         | 0        | 0        | 0        | 100,000  |
| 事務管理費           | 小計         | 1,000     | 1,000     | 440      | 0        | 0        | 0        |
|                 | 振込手数料      | 1,000     | 1,000     | 440      | 0        | 0        | 0        |
|                 | その他        | 0         | 0         | 0        | 0        | 0        | 0        |
| 予備費             | 予備費        | 85,796    | 99,050    | 260      | -12,504  | 87,496   | -13,254  |
| 当期支出合計(C)       |            | 286,796   | 300,050   | 100,700  | 87,496   | 187,496  | -13,254  |
| 当期収支差額(A)-(C)   |            | -86,796   | 0         | 99,300   | -87,496  | -187,496 | -86,796  |
| 次期繰越収支差額(B)-(C) |            | 0         | 0         | 86,796   | 0        | 0        | 0        |

(事務局 山口圭介・玉川大学)

## 2021-2022 年度役員改選

2020 年度総会におきまして、新学会年度役員が以下のとおり決まりました。(五十音順敬称略)

### 【会 長】

吉本 圭一 (滋慶医療科学大学)

### 【理 事】

石田 麻英子 (札幌国際大学短期大学部)  
 稲永 由紀 (筑波大学)  
 今永 典秀 (名古屋産業大学)  
 岩井 貴美 (近畿大学)  
 江藤 智佐子 (久留米大学)  
 上岡 史郎 (目白大学短期大学部)  
 見目 喜重 (豊橋創造大学)  
 小林 純 (札幌国際大学短期大学部)  
 古閑 博美 (学校法人 練馬みどり学園 田柄幼稚園)  
 古賀 正博 ((一社)福岡中小企業経営者協会)  
 高橋 秀幸 (北海道武蔵女子短期大学)  
 手嶋 慎介 (愛知東邦大学)  
 戸崎 肇 (桜美林大学)  
 中島 美佐穂 (流通科学大学)  
 古田 克利 (立命館大学)  
 眞鍋 和博 (北九州市立大学)  
 見館 好隆 (北九州市立大学)

### 【監事】

新谷 康浩 (横浜国立大学)  
 平尾 元彦 (山口大学)

### 【事務局長】

山口 圭介 (玉川大学)

### 【委員会等】◎委員長、○副委員長

年報編集委員会  
 ◎古田 克利、○牛山 佳菜代  
 広報委員会  
 ◎眞鍋和博、○上岡史郎、○見目喜重  
 企画研究委員会  
 ◎稲永 由紀  
 学会賞選考委員会  
 ◎小林 純

なお、理事以外を含めた正式な委員会等の構成は後日、web サイトに掲載いたします。

(事務局)



## 年報編集委員会報告

前年報編集委員会（2019-2020 学会年度、吉本圭一委員長）の編集体制のもと『インターンシップ研究年報』第 24 号が 2021 年 11 月に刊行されました。まもなく会員の皆さまのお手元に届く頃かと思えます。

新年報編集委員会（2021-2022 学会年度）が、2021 年 11 月に以下の 5 名体制で発足しました。『インターンシップ研究年報』第 25 号の編集・刊行を担当します。

委員長 古田 克利（立命館大学）  
副委員長 牛山 佳菜代（目白大学）  
委員 井本浩之（西九州大学）  
岩井 貴美（近畿大学）  
高橋秀幸（北海道武蔵短期大学）

『インターンシップ研究年報』第 25 号の「研究論文」及び「資料等」への投稿者条件は、次の通りです。

1. 「研究論文」及び「資料等」の投稿者は、以下の者であること。

i. 日本インターンシップ学会の会員であり、2021 年度の会費を 2022 年 1 月 20 日までに納入していること。

ii. 共著の場合、全員が i. を満たしていること。

締切日は 2022 年 1 月 20 日です。

投稿要領の詳細は『インターンシップ研究年報』第 24 号に掲載の『インターンシップ研究年報』第 25 号研究論文・資料等投稿規程をご覧ください。会員の皆さまの投稿をお待ちしています。

（年報編集委員会委員長 古田 克利・立命館大学）

## 広報委員会報告

### 1. 広報委員会構成

委員長 眞鍋 和博（北九州市立大学）  
副委員長 上岡 史郎（目白大学短期大学部）  
見目 喜重（豊橋創造大学）  
委員 石田 麻英子（札幌国際大学短期大学部）  
中島 美佐穂（流通科学大学）

この度、広報委員長を拝命しました眞鍋です。広報委員会は学会情報を内外に発信し「インターンシップに係わる諸問題の研究の推進・普及、社会に対する啓発・提言」に向けて重要な役割を担っていると感じています。ニュースレターの発行などの情報発信を委員会メンバーで力を合わせて着実にやって参りたいと考えています。また、委員会メンバーには各支部から加わっていただいていますので、各支部で実施する研究会の情報も積極的に発信していければと考えています。皆様のご指導、ご協力をよろしくお願ひします。

### 2. 学会ウェブサイト・メールマガジン配信について

広報委員会では本学会に寄せられた研究会やセミナー開催案内および教員公募等、会員の皆さまにとって有益な情報を学会ウェブサイトに掲載するほか、随時、メルマ

ガで配信しております。本学会に関連する情報がございましたら、広報委員会までメールでご連絡ください（jsi.prc@gmail.com）。なお、最終的な掲載可否は広報委員会で検討させていただきますのでご了承ください。

（広報委員会委員長 眞鍋和博・北九州市立大学）

## 学会表彰委員会報告

### 1. 2021 年度（第 15 回）高良記念研究助成対象者決定報告

高良記念研究助成は、本学会初代会長である故・高良和武先生のご寄付により創設された、特に若手研究者の育成や、会員相互の研究交流を目的とするものです。

今年度は 3 名の会員から助成申請があり、委員による厳正な審査の結果、宮田弘一会員（尾道市立大学）の「リモートインターンシップに対する教員の認識変容プロセスに関する質的分析—M-GTA を用いて—」の 1 件が採択されたことを第 22 回大会にて発表いたしました。研究報告は 2022 年の第 23 回大会にて行われる予定です。

### 2. 榎本記念賞報告

榎本記念賞は、学会顧問、大阪経済大学名誉教授の榎本淳子先生のご寄付により創設され、2015 年の全国大会より 2 年毎に「秀逸なインターンシップ」事例を選定し、表彰を行っております。

全国から推薦された 7 事例の中から厳正な審査を行った結果、以下の 5 件の事例が「秀逸な事例」として選定され、第 22 回大会にて表彰されました。

受賞されたみなさま、おめでとうございませう。今後一層のご活躍を祈念いたします。

#### 【最も秀逸な事例（1 件）】

・工学院大学／「低学年インターンシップの導入等、多様なインターンシップの展開」

#### 【秀逸な事例（4 件）】

・山形大学／「インスタラクショナルデザインによるオンライン・インターンシップの設計と運営—産学連携による取組み—」

・京都産業大学／「理工系専門教育に特化した中長期インターンシッププログラム「理工系コーオプ教育プログラム」の実践」

・MiraiShip／「MiraiShip によるオンラインインターンシップ」

・名古屋産業大学／「地域企業の魅力発見インターンシップ—地域企業を複数社体験する NPO 法人 G-net によるシゴトリップの事例より—」

今後学会表彰委員会では、学会内外を通じて、優れたインターンシップ事例の普及を目的として表彰の運営を進めて参ります。

なお、2021 年度より学会表彰委員会が改編され、新委員に古賀正博会員、手嶋慎介会員、そして小林純を委員長として新たなスタートを切ることとなりました。どうぞよろしくお願ひいたします。

（学会表彰委員会委員長・小林 純）

## 企画研究委員会報告

企画研究委員会は、学会員のさまざまな学術的、実践的な研究活動、特に共同での研究活動を促進するとともに、学会として必要とされる研究活動を企画する委員会です。

前回のニューズレターにおいて告知いたしておりましたが、去る2021年6月19日に、東日本支部との共同企画として、「実践を学術研究・論文作成に結びつけるための論文の書き方」講座をオンライン（Zoom）で開催しました。

今回は、これまでの研究会とは異なり、研究の意義や多様な研究手法に対する理解を得た後、日々の実践を研究成果としての論文に結び付けるための次のステップとして、自ら論文の構造を理解し、論文の型を身につけることを目的とする研究会を開催しました。

研究会は、双方向の演習方式を用い、インターンシップに関する課題論文を指定し、その構造を把握するためのワークシート（事前配布）を使用しながら、研究会を進めました。

研究会当日は、前半を事前に配布したワークシートを基に各自が分析結果を共有し合いながら、課題論文の構造を分析し、後半は、課題論文を読んでみて、それぞれが感じたこと、課題論文の課題や限界などを研究会参加者との間で討議しました。

主催者側に本学会の査読経験者が4名いたことから、論文の型や査読者の視点などを参加者と共有する良い機会となりました。

今後もZoom等のオンライン開催を取り入れながら、全国の会員の皆さまに参加して頂けるような企画を考えております。企画詳細につきましては、学会ウェブサイト等でお知らせしますので、どうぞよろしくお願いいたします。

（前 企画研究委員長 薬師丸 正二郎・立教大学）

上記セミナーの翌月から本学会は新年度にはいり、委員長も交代いたしました。どうぞよろしくお願いいたします。今期の活動としてはまず、前期からの持越課題として、世界産学連携教育協会（World Association for Collaborative Education: WACE）との連携を通じた本学会の活動の活性化について、具体的な検討を開始したいと考えています。並行して今期は、COVID-19によるパンデミックから徐々に抜け出していく時期に当たっていることから、インターンシップ専門学会として、記憶が古くならないうちに各会員の経験を組織的に集約し議論・検討するような、共同での研究活動の可能性を探りたいと考えています。委員については現在調整を進めているところです。

（新 企画研究委員会委員長 稲永 由紀・筑波大学）

## 支部活動報告

### 【北海道支部】

北海道支部ではこれまで毎年3・6月ころの年2回をベースに研究会を開催しておりますが（3月は支部総会も開催）、2021年6月の研究会につきましては、9月に開催する第22回大会の準備等に注力するため、研究会の開催を見合わせることにいたしました。これは北海道支部の会員数が他支部に比べて小規模であることや、緊急事態宣言の発令などにより、研究会開催に向けた余力が小さいことなどが理由です。支部会員のみなさまには発表の機会を準備できませんでしたことを、支部長よりお詫びいたします。

第22回大会につきましては、慣れないオンライン開催ではありましたが、原実行委員長を中心として、北海道支部会員で組織された実行委員会の準備・運営により、無事に終了することができました。本ニューズレター冒頭でも原実行委員長よりご挨拶が出ているかと存じますが、大会が無事に終了できたのは、全国の会員の皆さま、参加者のみなさまのお力添えをいただけた結果だと考えております。厚く御礼申し上げます。

北海道支部では、今後役員会を開催し、2021年度総会・研究会（3月）、第2回研究会（6月）の開催に向けた準備を進める予定です。現状落ち着きを見せているコロナ禍の状況によっては、感染対策を万全にしなが、対面・ハイブリッドによる開催も検討して参ります。支部会員の皆さまにはメールにてお知らせする予定ですので、お待ちくださいますようお願い申し上げます。

（北海道支部支部長 小林 純・札幌国際大学短期大学部）

### 【東日本支部】

#### 1.2020年度第3回支部研究会

今回は、企画研究委員会の皆様のご協力をいただき、インターンシップに関する論文を基に、論文の構造などについてディスカッションを行い、コメンテーターの先生方からのアドバイスをいただきながら、論文の書き方について学ぶ内容で研究会を行いました。少人数でじっくり研究について学ぶ大変有意義な研究会となりました。

第3回支部研究会は、6月19日（土）に企画研究委員会との共催で「実践を学術研究・論文作成に結びつけるために～研究年報掲載論文を題材に論文の書き方、研究の進め方を考える～」をテーマにオンライン（Zoom）で開催しました。

#### 2.2020年度支部総会

11月7日（日）に2020年度総会を開催しました。総会において、新しい支部長に松坂暢浩会員（山形大学）、幹事に村上正夫会員（嘉悦大学）が選任されました。副支部長、事務局長、運営委員については、東日本支部会則に基づき、新支部長が指名するとの報告がなされました。また2020年度の支部事業の報告と支部決算および監査報告ならびに2021年度の支部事業計画（案）と支部予算（案）に

ついて、協議の上、承認されました。

(東日本支部支部長 松坂 暢浩・山形大学)

#### 【関西支部】

関西支部は、12月10日(金)夕方に第16回関西支部研究会を開催します。今年も大学コンソーシアム大阪との共催でして、参加される方に、共催者の会場での対面方式と Zoom によるオンライン方式を選んでいただくことが可能です(共催者のご協力により、昨年12月の第15回研究会と同様、2年連続でハイブリッド方式での開催となります)。

今回の報告者は、共催者から推薦していただいたNPO法人G-netの南田修司 代表理事と、関西支部から依頼した木村亮介会員(和歌山大学)です。お二人とも、コロナ禍の下での実践型インターンシップを模索されていて、まず南田代表理事から「コロナ禍における地域をフィールドとした実践型インターンシップの模索～地域と若者を繋ぐグラデーションある実践機会の設計～」を報告していただいた後、木村会員から「実践型インターンシップのユニバーサル化の模索～下準備としてのPBLの活用～」を報告していただく予定です。ご報告の後、例年どおり40分くらいの交流会も予定しておりますので、奮ってご参加ください。

(関西支部支部長 安孫子勇一・近畿大学)

#### 【九州支部】

##### 2021 年度支部総会ならびに九州支部第26回研究会開催

2021年7月31日(土)にオンライン(Zoom)形式で2021年度九州支部総会ならびに第26回研究会を開催しました。支部総会では吉本 圭一支部長(九州大学名誉教授)の挨拶に始まり、本年度は支部役員改選となるため、新たな支部役員候補が提案され承認されました。九州支部創設以来支部長を担当された吉本圭一会員は顧問に、新支部長には眞鍋和博会員が就任しました(詳細は学会ウェブサイト参照)。続いて2020年度会計報告・活動報告がなされ、岡本信弘監事(博多工業高等学校)から会計監査報告が行われ承認されました。最後に2021年度予算計画・活動計画が示され、年2回の研究会計画についての検討がなされました。

支部総会後に『教育と職業の接続に対してインターンシップが果たせる役割』をテーマに第26回九州支部研究会が開催されました。

吉本圭一会員(九州大学名誉教授)から開会挨拶・趣旨説明として、今回の研究会のテーマ設定について、2021年3月30日に経団連から発表された『Society 5.0に向けた大学教育と採用に関する考え方』が発端となったことが説明されました。そこではインターンシップの意義が「業界や企業で働くことの意義などを学ぶことや、「企業側、学生側双方が、就職におけるマッチングの精度を高めてミスマッチを減らす」こととされており、教育としてのインターンシップという学校側からの

視点が希薄であり、今一度、教育としてのインターンシップの意義を再考するために、学会が取り組んできた研究内容も含め、今後のインターンシップの在り方、意義等を考える機会としてテーマ設定がなされたことが示されました。

報告①は吉本圭一会員から「教育としてのインターンシップ再考」と題し、「採用と大学教育の未来に関する産学協議会」のインターンシップ定義の検討を踏まえ、政策支援による大学主導の短期、無報酬・非労働者性、職業移行に関わらないインターンシップに対して学生参加率がなぜ低いのかという政府統計データのからくりについての説明がなされました。今後のインターンシップの在り方として、高等教育のグランドデザインとインターンシップへの提言、そのためのインターンシップと「専門分野と関連する就業体験」の職業的レリバンス、そして職業統合的学習(WIL)に領域拡大を遂げるために、今後の日本インターンシップ学会の方向性についての論考が示されました。

報告②は江藤智佐子会員(久留米大学)から「インターンシップ研究のあゆみ」と題し、研究としてのインターンシップ再考のために、学会誌『インターンシップ年報』の研究変遷が示されました。インターンシップから職業統合的学習(WIL)へと研究対象領域を拡充するための方策としての事例等が示されました。

この2つの報告を受け、全体討議ではディスカサントとして古賀正博会員(九州インターンシップ推進協議会)から産学連携教育としてのインターンシップの今後を検討する上で、「リアルな社会(課題)をフィールドにした実践的学びが学生も社会人も常態化」にはどのような方策があるかという話題提供がなされました。フロアも交え、教育機関、企業採用担当者など多様な立場の参加者とともに今後のインターンシップを再考する活発な議論が展開されました。

39名の参加者(うち九州支部以外17名、非会員11名)があり、オンラインならではのメリットとして、地域に関係なく参加できること、業務の合間にスポット的に参加できることなどの声も聞かれ、盛会のうちに研究会を終えることができました。

(九州支部事務局長 江藤智佐子・久留米大学)

## 事務局からのお知らせ

### 2021 年度会費納入のお願い

2020 年度の会費納入につきまして、会員の皆さまにご送付させていただきました。2021 年度（2021 年 7 月から 2022 年 6 月）分の会費につきましては、下記口座にお振込みいただきますようよろしくお願い申し上げます。

#### 【振込先】

・郵便口座 02750-1-108419  
口座名義（「加入者名」の欄） 日本インターンシップ学会  
・ゆうちょ銀行  
店番：279（当座）  
口座番号108419  
口座名義：日本インターンシップ学会  
\*恐れ入りますが、振込手数料はご負担ください。

(事務局)

## 日本インターンシップ学会 NEWS LETTER 2021 No.1

発行日：令和3年12月14日

発行：日本インターンシップ学会 会長 吉本 圭一

編集：日本インターンシップ学会広報委員会 委員長 眞鍋 和博

印刷：日本インターンシップ学会事務局 事務局長 山口 圭介

〒194-8610 東京都町田市玉川学園 6-1-1

玉川大学キャリアセンター内

E-mail：jsi-sec@js-internship.jp

Tel：042-739-8915 Fax：042-739-8921